

## 電子図書館の利用状況

年度	閲覧件数	貸出件数	貸出人数	新規登録	蔵書点数
<b>令和3年度</b>	528,737	221,926	111,573	31,115	46,991
(内学校利用)	—	(187,339)	(92,983)	(26,765)	—
(内一般利用)	—	(34,587)	(18,590)	(4,350)	—
<b>令和4年度</b>	567,452	231,129	125,229	5,121	69,046
(内学校利用)	—	(198,508)	(107,993)	(3,294)	—
(内一般利用)	—	(32,621)	(17,236)	(1,827)	—
<b>令和5年度(6/30時点)</b>	236,959	60,832	33,587	3,003	55,644
(内学校利用)	—	(50,445)	(28,210)	(2,595)	—
(内一般利用)	—	(10,387)	(5,377)	(408)	—

「ひがしおおさか電子図書館」は令和3年4月1日にサービスを開始しました。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響により図書館が臨時休館する期間もあり、来館不要で読書のできる電子図書館が活用されました。

令和3年6月からは学校連携がスタートし、東大阪市立小中学校の児童生徒はGIGAスクール構想により配付されたタブレットにて「ひがしおおさか電子図書館」が利用できるようになり、電子図書館の利用数が増加しました。

電子図書館の学校利用に伴い貸出中の本が多くなり、朝の読書の時間などは読みたい本を探せない状況が発生しましたが、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の活用により蔵書点数を増加できました。

更に、令和4年4月1日からは児童書の読み放題型コンテンツを100点追加することで読書機会の向上を図りました。読み放題型コンテンツは朝の読書の時間を中心に利用され、令和4年度の閲覧数は月平均2,000件でした。令和5年度は読み放題型コンテンツを325点追加し、その閲覧数は月平均35,000件に増加しております。図書館が通常開館するに伴い一般利用者の利用が減少しましたが、40～50代を中心に利用は徐々に増えてきており、HANAZONO EXPOや東大阪市民ふれあい祭りなど図書館外にて体験会を催したり、図書館内での使い方講座を開催することで一般利用者のさらなる利用促進を図っております。